



日鉄建材株式会社

NIPPON STEEL METAL PRODUCTS CO.,LTD.

デッキプレート  
(Steel Decks)

## 算定単位

1 t

## 算定対象段階

最終財 中間財製造段階 (原材料調達、原材料の輸送、製品の製造)  
及び間接影響

## 製品の型式、主要仕様・諸元

製造サイト: 野木製造所、大阪製造所、戸畑工場

主な規格: JIS (日本産業規格)、大臣認定

形状: デッキプレート

主な板厚 (単位mm、t=板厚): t=0.8~1.6

登録番号	JR-AX-23001E-A
適用PCR番号	PA-180000-AX-05
PCR名	建設用鉄鋼二次加工製品 (中間財)
公開日	2023年4月1日
検証合格日	2023年3月14日
検証方式	個品別検証方式
検証番号	JV-AX-24011
検証有効期間	2028年3月13日

## PCRレビューの実施

認定日等	2023年1月6日
委員長	松野 泰也 (千葉大学)

## 第三者検証者\*

外部検証員 内田 裕之

ISO14025およびISO21930に従った本宣言及びデータの  
独立した検証内部 外部\*システム認証を受けた事業者内の検証の場合は、システム認証を行った  
審査員の名前を記載。

## 問い合わせ先

日鉄建材株式会社 床商品営業部

TEL: 03-6625-6140 <https://www.ns-kenzai.co.jp/>

### ① ライフサイクル影響評価結果

影響領域	生産+間接影響※1	生産のみ※2	単位
気候変動 IPCC 2013 GWP 100a	1800	3200	kg-CO <sub>2</sub> eq
酸性化	0.76	2.80	kg-SO <sub>2</sub> eq
富栄養化	0.016	0.041	kg-PO <sub>4</sub> <sup>3-</sup> eq

※1：A1～A3およびDの合計 ※2：A1～A3の合計

内訳	項目	単位	合計	【A1】 原材料調達	【A2】 原材料の輸送	【A3】 製品の製造	【D】 間接影響
	気候変動 IPCC 2013 GWP 100a	kg-CO <sub>2</sub> eq	3.2E+03	3.1E+03	3.3E+01	4.7E+01	-1.3E+03
	オゾン層破壊	kg-CFC-11eq	-1.8E-07	-2.1E-07	2.4E-10	2.3E-08	-2.4E-07
	酸性化	kg-SO <sub>2</sub> eq	2.8E+00	2.5E+00	3.6E-01	2.0E-02	-2.1E+00
	光化学オキシダント	kg-C <sub>2</sub> H <sub>4</sub> eq	3.0E-02	2.2E-02	6.6E-03	1.3E-03	-2.9E-01
	富栄養化	kg-PO <sub>4</sub> <sup>3-</sup> eq	4.1E-02	4.1E-02	2.1E-13	1.7E-07	-2.5E-02

### ② ライフサイクルインベントリ分析関連情報

項目		単位
非再生可能資源	7.2E+02	kg
非再生可能エネルギー	3.7E+04	MJ
再生可能資源	1.2E+03	kg
再生可能エネルギー	7.4E+02	MJ
淡水の消費	2.7E+00	m <sup>3</sup>

### ③ 材料及び物質に関する構成成分

材料・物質 (使用部分)		単位
Fe	≥84.0	%
C	≤1.10	%
Si	≤3.00	%
Mn	≤3.00	%
P	≤0.050	%
S	≤0.050	%
Zn	≤15.00	%
Al	≤4.00	%

### ④ 廃棄物関連情報

項目		単位
有害廃棄物	0.00E+00	kg
無害廃棄物	1.9E+00	kg

※ライフサイクルにおける廃棄物量を示しています。

### ⑤ 算定結果に関する追加情報

1)原料として、エコリーフとして公開され原単位登録されている日本製鉄株式会社の「溶融めっき鋼板 (建設用)」を使用し、原単位登録データ (JR-AJ-22006E-A) を使用している。

2)デッキプレートは、二次加工品であり、鋼スクラップは使用しないので原料の「溶融めっき鋼板 (建設用)」の間接影響効果のみを評価した。

本宣言ではJIS Q 20915に基づく鉄鋼材料のリサイクル効果を評価し、上記①ライフサイクル影響評価結果 内訳表上の【D】間接影響列にその値を記載した。間接影響分は上記の表【A1】～【A3】の合計値に加算される。

計算に使用したリサイクル率は93.0% (計算はJISQ20915に従い、2018年度の国内データ (出典：日本鉄鋼連盟、鉄源協会、スチール缶リサイクル協会) を使用)

3)輸送に関しては、日本製鉄一日鉄建材間の海上輸送と陸送の距離をGoogleMap等の地図ソフトで計測して用いた。

4)本宣言における③材料及び物質に関する構成成分について、鉄以外は対象となる鋼材規格の各上限値のうち最大のものを示す。但し、各製品において構成成分における鉄の含有量が84%以下になることはなく、他構成成分の比率が調整される。

5)一次データは、2021年度の実績値を使用した。電力原単位は「電力、一般電気事業者10社平均、2014年度」を使用した。

#### ⑥-1. その他の環境関連情報

ISO14001認定工場で生産している。

(認定機関:日本検査キューエイ株式会社 登録番号:野木製造所/E1209、大阪製造所/E1720、戸畑工場/E1763)

#### ⑥-2. 有害物質に関する情報

項目	CAS No.	法令等
マンガン	7439-96-5	労働安全衛生法施行令

#### ⑦使用した二次データの考え方

IDEA v2.1.3を使用した。また、スクラップ原単位 (スクラップ LCI) は原単位登録番号：JP-AJ-0001を使用した。

#### ⑧備考

更新日：2024年7月30日 → 最新の原単位登録データ (JR-AJ-22006E-A) を適用

変更日：2025年1月31日 エコリーフマークからSuMPO EPDマークに変更。

- データ算定の方法は、PCRおよび算定・宣言規程を参照してください。
- 比較については、算定・宣言規程に規定された条件を満たした場合にしか認められません。  
(参照先URL：<https://ecoleaf-label.jp/regulation/>)